

## 9月8日~10月8日 パブリックコメント実施 —平塚市学校給食基本構想・基本計画素案—

# 安心・安全な学校給食実現 のため、皆さんの意見を！

平塚市が中学校給食実現に向け大手コンサルタント会社に委託した計画づくり、その素案が9月8日、平塚市のホームページにアップされました。

中学校15校と現在東部北部共同調理場で作られている小学校21校分（自校式7校を除く）の併せて約15,000食の給食づくりを可能とする大規模施設で、田村の現放置自転車保管場所がその建設予定地となっています。社会状況の変化により中学校給食の必要性は高まってきていますが、運用方式や提供される給食の中身等にできるだけ児童生徒や保護者の要望が反映されることが必要です。是非大ぜいの方々にご参加いただき、より安心・安全な学校給食、市民合意の高い給食にしていきたいと思います。

計画地	平塚市田村九丁目 ※浸水対策等を踏まえた整備計画とする。
調理能力	約15,000食/日
献立	・児童・生徒の成長に見合った栄養価を満たす献立 ・小学校3コース、中学校2コースの給食調理
概算事業費	新共同調理場の整備 56億円程度（税抜） 中学校の給食受入環境の整備 11億円程度（税抜）
供給開始時期	令和6年度中
事業手法	官民連携手法の活用、持続可能で効率的な給食運営の実現

### 学校給食、もう一つの課題 計画概要版より抜粋

中学校給食が現在実施されていない平塚市では、実施していれば就学援助費の対象となる準要保護家庭への支援はありません。

今回市はコロナ感染症対策の一つとして休校期間を対象に小学校に在籍する就学援助費対象者に給食費相当額を支給しましたが、その考え方を中学生のいる家庭にも適応できないでしょうか？

新共同調理場完成までには数年を要します。中学校給食が実施されるまでの暫定的な支援策として検討すべきと考えます。家庭の事情と関係なく昼食を食べられる環境づくりを早急に進めるべきです。

### 神奈川ネットワーク運動とは

1. 議員は2期8年で交代します。
2. 議員報酬は市民の活動資金として活用します。
3. 選挙はすべて市民のカンパとボランティアで。



## コロナ禍の避難対策 逃げ遅れゼロに向けて

平塚市では53カ所の避難所にマルチルーム（プライバシー確保）が各4台ずつ配置、コロナ対策にも不可欠となった段ボールベッドが各10枚（10人分）配置されました。パーティションは準備中とのことです。

コロナ禍での避難対策について東京大学大学院名誉教授 松原一郎氏は、災害対策とコロナ対策を複合災害と名付け、夏期には熱中症対策がプラスされる困難を極める状況に陥ることをTV報道で語っていました。

7月の球磨川氾濫は特養ホームの入所者14人の死亡など甚大な被害をもたらしました。同じく7月末の山形県最上川の氾濫では、球磨川との雨水量等規模の違いはあるものの700棟の浸水被害にもかかわらず死者はゼロでした。行政と市民の素早い避難行動が奏功したとコミュニティの力を評価する新聞報道がありました。

市民はハザードマップを確認しマイタイムライン（市民一人ひとりがとる防災行動計画）に基づく「逃げ遅れゼロ」に向けた行動を！行政は適切な（予想がハズレルことを恐れない）避難情報の提供が必要です。避難所においても、市民は3日分の飲食物とマスクや除菌用品等は用意する。行政は避難所の従来の飲食物や毛布等に加えコロナ対策物品プラス段ボールベッドやパーティション等準備し、感染対策を強化するなど連携していくことが重要です。

### 龍城ヶ丘プール跡地整備

#### 聞きっぱなしの意見交換会

—市民の声は生かされないのか？—

#### 市は東側樹林帯には減災機能無しとの見解

龍城ヶ丘プール跡地整備については、プール跡地だけの整備だと思っていた市民や、また防災・減災機能を果たしてきた樹林地までもが対象となることに不安を抱く市民が、市に計画の見直しを求めてきました。コロナ感染症拡大防止を理由にウェブ上や小人数での開催となったコミュニティミーティングで出された市民意見は生かされるのか？参加者から危ぶむ声が上がっています。